

(地域の食品ロスゼロ・生活にお困りの方ゼロ) ゼロゼロ地域の創生 (ゼロゼロ地域創生PT)

プロジェクトチームの目的	沖縄では年間6.1万tの食品ロス(美味しく食べられるのに捨てられている食材)がある一方で生活困窮者が多い(子供の貧困29.9%全国の倍)という矛盾を抱えている、プロジェクトを通して地域の企業や個人と連携を図り、両方の問題点に循環型で取り組み改善することで、沖縄にて食品ロスゼロ・生活にお困りの方ゼロの「ゼロゼロ地域を創出」する					
解決したい課題	・県内の食品ロスゼロ ・県内の生活にお困りの方ゼロ ・子供の貧困率改善					
関連するゴール	     					
おきなわSDGsアクションプランとの関係性	優先課題⑨	⑨-3	地域課題に行政・地域・企業等の多様な関係者が持ち味をいかしつつ連携して推進するパートナーシップを通じて、共助・共創型の社会を実現する。			

1年間の活動概要	1年間の活動成果
<p>①【食品ロス食材の貢取】県内の食品を扱う企業・団体 ・目的を共有し連携企業を募り買取りを行うことで県内の食品ロスの削減を図る</p> <p>②【支援拠点の拡充】県内のモールやそれに類する施設を有する企業・団体 ・連携し支援拠点としてのecoeat店舗を出店する：浦添以北</p> <p>③【啓発活動(勉強会)の実施】自治会・PTA・教育委員会等教育に関わる組織や団体 ・多くの方に賞味期限などに関する正しい知識を共有し食品ロスの削減に繋げる、小中学校の年間プログラムに取り入れることで家庭からのロスの削減を図る</p> <p>④【食糧支援の実施】保護課等の行政各課や社協や民間支援団体 ・連携して食糧支援を行い、継続的に支援を行うことができる仕組みを作る</p>	<p>①【食品ロス食材の貢取】 沖縄県内の食品ロス予備軍の食品買取り実績(県内企業からの貢取品重量kg) 2024年17,902kg</p> <p>②【支援拠点の拡充】 アクションを行うも進展なし継続してアクション</p> <p>③【啓発活動(勉強会)の実施】 2024年28団体(沖縄福祉保育専門学校・南風原教育委員会・南風原中学校・古蔵小学校・(株)MSI・県立看護大・沖縄尚学・県SDGs推進室・社協・SDGsプラットフォームイベント・城岳小学校・等) 個人：学生取材インタビュー等 6組35名 ※行政向け勉強会等 ※宜野湾市パブテスト教会年末わっぷうの会協賛 新聞テレビなどメディア取材での啓発活動 2024年5件(タイムス・新報・Q A B・他)</p> <p>④【食糧支援の実施】 2024年一般家庭:45件(一斉支援27件) ※宜野湾市パブテスト教会わっぷうの会食糧品寄贈</p>



今後の展望	当団体は社会課題解決がそのまま事業の目的なので、粘り強く4つの活動と沖縄の食品ロス削減と貧困の解決に向けて継続して取り組んでまいります。課題に関しては引き続き認知の向上活動内容の啓発にありますので、県内の団体個人を問わず興味のある方は引き続きご連絡をお願いします。公的資金に依存せず県民の力で食品ロス削減と貧困の解決(特に子供の貧困)に向けて共に頑張りましょう！
-------	---